



ID: 1320

科目名	建築防災計画【26年度生用】			コード			
英語表記	Disaster Prevention Plan						
担当教員名	多賀 直恒			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
自然災害や日常活動の中で生じる事故や災害を、建築の立場から総合的・体系的に概観する。現代の都市構造の中で各種建築物/住宅の中で発生している多くのリスクを対象にする。建築物の企画・設計・施工・運用の段階における安全問題を人命を守り建物本来の機能を維持する見地から検討する。リスクの発生源から事故・災害の発生課程を具体的に実態に基づき追跡して、必要な対策と措置に関する方法を考察する。							
到達目標							
都市生活の中で安全を維持するための基本的事項として以下の項目を修得する。(1)現代都市の構造と建築物の配置の概要の把握(2)都市に発生する災害とリスクの原因とプロセスの理解(3)自然災害としての震害・風害・水害・地盤災害の概要と対策(4)日常災害・家庭内事故の実態と住宅の日常生活機能を保守と安全							
授業計画							
第1回	都市計画・建築計画上の施設・建築・住宅の適正配置と建築構造の様式類型と安全問題						
第2回	人間の死亡リスクと都市で発生する災害・公害・各種リスクの実態の特徴						
第3回	都市地盤と建築基礎に関する防災上の課題 造成地盤上の住宅の崩壊						
第4回	家の中は安全か 人口動態統計による不慮の事故と居住空間内のリスクの実態						
第5回	車社会における道路交通・高齢社会のバリアフリーとUDの状況						
第6回	少子高齢社会における住宅内の安全対策を総合点検						
第7回	各種建築構造の地震被害性状とその特徴						
第8回	都市の冗長度と道路と公園と住いの関係						
第9回	密集市街における都市火災・地震火災の発生状況と都市構造・住宅配置の関係						
第10回	緊急時・火災発生時の人間行動・人間心理と避難行動・防止対策 津波の避難と防災教育						
第11回	地震による人災構造の実態 老朽木造住宅の保守と維持管理及び耐震診断・耐震補強						
第12回	都市水害の現状と被害状況に対する安全対策にする建物低層部・地下室の水防対策						
第13回	居住空間内部及び周辺の耐震安全性の未整備 地震時の家具の転倒、ブロック塀の倒壊の対策						
第14回	都市の中の建築・住宅の安全と対策の体系的な理解						
第15回	現代都市と建築の内包する安全・安心の全体の総合的な理解度と学習の到達度を検証						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
評価基準は、学習目標の到達度を測るための問題を出題する定期試験と平常点で全体を総合評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	50		20(質問)
授業外学習			テキスト、教材				
毎週講義の課題レポートを自習に提出			講義に先立ち講義資料と講義ノートを配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本建築学会編『安全・安心のまちづくり』まちづくり教科書シリーズ7;丸善			基礎的な知識の習得(1)数学的な物理学的基礎 (2)地形・地質・地盤・基礎の専門知識(3)自然災害・日常災害に関する常識 (4)新聞記事の日常の通読の実行				
キーワード							
防災安全・自然災害・家庭内事故・危機管理・都市環境・都市公害・							